



令和7年度 第二中学校区 小中連携研修報告

清瀬第二中学校
清瀬第三小学校
清瀬第六小学校
清瀬第七小学校

個人情報に配慮し、
本写真は掲載して
おりません。

個人情報に配慮し、
本写真は掲載して
おりません。

個人情報に配慮し、
本写真は掲載して
おりません。

小中連携を通して育成したい児童・生徒像

1 身に付けさせたい資質・能力

- ・生涯に渡って学び続ける力や人間性
- ・清瀬を誇りとし持続発展の主体者となる力

2 育てたい児童・生徒像

- ・なりたい自分を思い描き、それに向かって努力できる子
- ・素直に人の話を聞くことができ、自分の思いを伝えられる子
- ・他者と互いに認め合い、協力、協働できる子

研修の方法

★4つの分科会に分かれての研修および実践

○ICT活用分科会○

- ・一人一台端末を使った授業改善の共有
- ・校務支援システムの活用推進
- ・ICTを活用したOJTの合同での取組

○生活指導分科会○

- ・生活指導や生活のきまりの情報共有
- ・不登校対応についての情報共有
- ・児童会、生徒会を軸にした連携活動の実践

○授業改善分科会○

- ・算数、数学の情報交換と授業連携
- ・外国語活動、外国語と英語の情報交換
- ・学習指導計画のつながり

○特別支援教育分科会○

- ・知的固定特別支援学級間の情報共有
- ・情緒学級と特別支援教室の連携
- ・小中接続の円滑化を図るための交流実践

個人情報に配慮し、
本写真は掲載していません。

話題としたもの

- ・校内情報のやり取り

- ・職員会議の持ち方や資料の提示の仕方

- ・お勧めアプリやシステム
(Kahoot!、ミライシード、エムボット、komakoma, myTyping、寿司打(すしだ)、Canva、など)

ICT活用分科会

清瀬第二中学校区

デジタル活用実践力及びプログラミング教育年間計画の一例(清瀬第六小学校ベース)

2年生	教科等	生活	道徳	国語	
	教材	コード・A・ピラー アルゴリズム	GIGAワーク「動画」 「使いすぎているかな」	オクリンク 話し合い活動	
	デジタル活用実践力	論理的考え方	情報モラル 使いすぎについて考える	相手を意識してわかりや すく表現する	
3年生	教科等	総合	総合	総合	社会
	教材	GIGAワーク「動画」 「自分と相手との違い」	プログラミング スクラッチ	野菜博士 スクラッチ	安全な暮らし
	デジタル活用実践力	情報モラル 感じ方・伝わり方	理論的な考え方	プレゼンテーション 作成と発表	プレゼンテーション 作成と発表
4年生	教科等	理科・社会	算数	総合	総合
	教材	スライド オクリンク	計算の仕方 プログル	プログラミング	出前授業 NTT
	デジタル活用実践力	簡単な表やグラフの作成 プレゼンテーション	論理的な考え方	論理的な考え方	論理的な考え方
5年生	教科等	道徳	算数	総合・国語	
	教材	GIGAワーク「動画」 自分と相手との違い	円グラフ・帯グラフ オクリンク・プログル	プレイグラム 情報モラル micro/bit	
	デジタル活用実践力	情報モラル 感じ方・伝わり方	表やグラフの作成	キーボード等による十分な 速さで正確な文字の入力	

ICT活用分科会

個人情報に配慮し、
本写真は掲載していません。

七小6年生が第二中学校
の合唱コンクールの
映像を見ているところ

三小2年生が七小2年生
の運動会の表現の映像を
見ているところ

個人情報に配慮し、
本写真は掲載していません。

生活指導分科会

情報共有
夏季研修会と
2回の合同研修会

★生活のきまりについての
情報共有
★不登校児童・生徒へ
についての情報交換



生活指導分科会

個人情報に配慮し、
本写真は掲載していません。

中学生 引き取り→
各小学校引き取り

9月1日 防災の日に
小中合同引き渡し訓練を実施

個人情報に配慮し、
本写真は掲載していません。

生活指導分科会

個人情報に配慮し、
本写真は掲載していません。

小中合同あいさつ運動
実施

第1回 11月26日 六小
27日 三小
28日 七小

個人情報に配慮し、
本写真は掲載していません。

第2回 2月に実施予定

授業改善分科会

算数・数学グループ

◇課題の共有◇

- ・学習内容の定着に個人差
- ・より主体的に授業に取り組ませるための手立て

◇実践内容◇

- ・計算トレーニング
- ・振り返り活動の重視
- ・少人数制の工夫
- ・一人一台端末の活用



◇成果◇

- ・学習に主体的に取り組む様子が見られた
- ・計算トレーニングと振り返り活動が定着した

個人情報に配慮し、
本写真は掲載していません。

◇次年度に向けて◇

- ・基礎的基本的な知識、技能の定着
- ・「数学的な見方・考え方」を働かせた数学的活動の充実

授業改善分科会

外国語グループ



◇課題の共有◇

- ・習得すべき学習内容の量
- ・言語に関する気付きを生む
学習過程の充実

◇実践内容◇

- ・アクティビティ中心の学習
- ・中1への指導の工夫
- ・小中の指導法に関する協議

授業改善分科会

◇成果◇

- ・学習意欲の向上
- ・英語に対する抵抗感の軽減

◇次年度に向けて◇

- ・相互の対話を促す指導
- ・スモールトークの実施
- ・対話のモデリング

外国語グループ

個人情報に配慮し、
本写真は掲載していません。



特別支援教育分科会

知的固定学級グループ



☆児童・生徒の実態についての情報共有

- ・中学進学後の様子
- ・現6年生の様子

☆授業についての情報交換

- ・教材について
- ・教材研究について
- ・保護者対応について

など

特別支援教育分科会

知的固定学級グループ

☆オンライン交流会☆
児童・生徒がmeetを使って、
自己紹介や活動の様子を交流

二中 5組 1年生
六小 うめのたけ学級6年生
七小 けやき学級 6年生

第1回 12月11日
第2回 2月3日に実施予定

個人情報に配慮し、
本写真は掲載していません。

特別支援教育分科会

情緒固定学級・特別支援教室グループ



☆児童・生徒についての情報交換
◎二中での生徒の特性把握の課題
→各校の児童生徒の情報共有の
方法を共有

【課題】

小学校から中学校への引き継ぎがまちまちである。結果、中学入学後2ヶ月位、特別支援のアプローチが遅れる。

特別支援教育分科会

情緒固定学級・特別支援教室グループ

【取組】

引き継ぎ資料の見直し

- 特性把握のための項目を検討
 - ・必要な情報はなにか
 - ・どのような規準でつけるか

【次年度に向けて】

- 引き継ぎシートの案を活用

A	B	C
得意・苦手	児童の実態	検査結果（診断名や服薬等）
実態	支援（力を高めていくための指導）	
教室での課題	合理的配慮	
年間目標（担任）	前年の児童の変容	
具体的な手立て	前年の助言	
	支援機関	
	資料/発達検査結果	

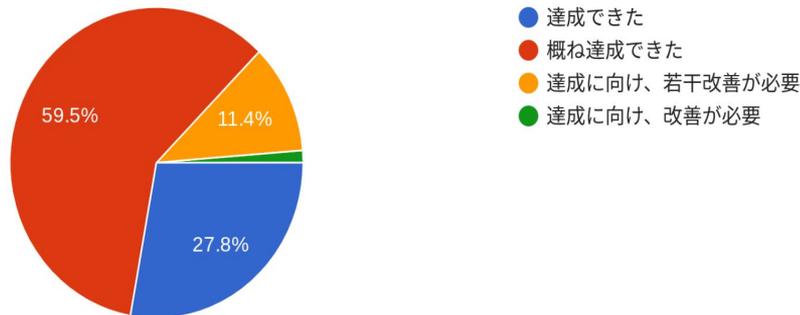
個人情報に配慮し、
本写真は掲載しておりません。

成果指標の達成状況

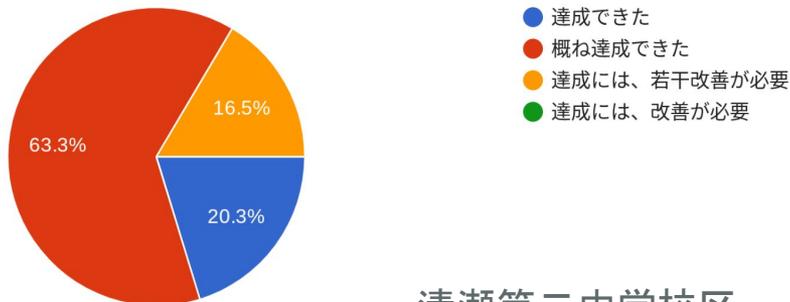
5-① 小中連携、小小連携を行うことでの「教師にとってのメリット」があった
79件の回答

★成果指標として、研修ごとに「振り返りアンケート」を実施。

★教師間の連携により、小中連携の意義として教師のメリットを感じ、教員一人一人が主体的に連携に取り組む意識が高まった。



6 自分自身が小中連携、小小連携で具体的に取組めた
79件の回答



清瀬第二中学校区

振り返りより(抜粋)

- ・生徒の情報共有を密に行うことができた
- ・接続という点において必要不可欠だと感じた
- ・中学校でどんな力が求められているのか、小学校でどんな力を付ける必要があるのかなど交流を通して知ることができた

次年度に向けての課題

教師の振り返りから(抜粋)

- ・連携して行う行事がある際は、細かい共通事項を決めていく必要がある
- ・ICT活用に関しては、担任の裁量によるものが大きいですが、統一することで教員の負担感が増えないかは考える必要がある
- ・不登校児童の対策を話し合いたい
- ・授業見学の機会が多いと生徒の様子もわかるため、次年度はそのような機会が増えるとよい
- ・成果を小中で更に実践に活かす取組ができると良い
- ・生活指導分科会による小中連携から、児童会と生徒会やキャリア教育 などによる連携へつなげたい
- ・児童、生徒の意識調査を行いたい